

はじめに

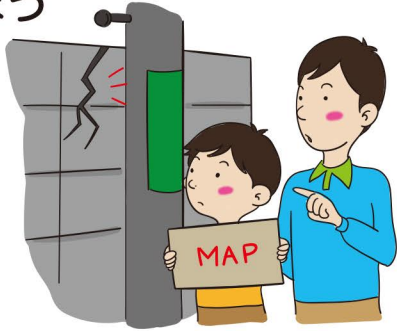
本書は、いつ起こるかもしれないさまざまな災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろから内容に目を通し理解を深めていきましょう。また、本書の特徴として、災害時に持ち運びができるように冊子型としています。ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

もくじ

● はじめに		1	● 風水害対策		11
● 5段階の警戒レベル		2	● 地震対策		12
● 避難行動判定フロー		3	● 火災対策		13
● マイ・タイムライン		4	● 大雪・竜巻対策		14
● 地域ぐるみで防災に取り組もう	...	5	● 避難所一覧		15, 16
● 避難所の運営		6	● ハザードマップの見方		17
● 災害時の情報伝達		7	● 全体索引図		18
● 非常時持出品・備蓄品		8	● 詳細マップ1～15		19～48
● 感染症対策		9	● ゆれやすさマップ		49, 50
● 土砂災害対策		10	● わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	...	裏表紙

ハザードマップの活用方法について

- ① 住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- ② 避難所を確認しましょう
- ③ 避難経路を考えてみましょう
- ④ 家族や周辺住民と情報を共有しましょう



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- ☐ 家の中で一番安全な場所
- ☐ 家族一人ひとりの役割分担（安否確認、非常時持出品・備蓄品のチェック）
- ☐ 避難所、避難経路（自宅と避難所を確認）
- ☐ 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認
- ☐ 災害が起こったときの身の守り方
- ☐ 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
- ☐ 要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）のサポートと避難方法

